

書
評

三上 一夫

○松ヶ鼻用水沿革史

このほど武生市松ヶ鼻土地改良区（理事長、服部与兵衛）では、長年にわたる県営松ヶ鼻灌漑排水事業を中心とする一連の整備事業がほぼ完成したのを機会に、「松ヶ鼻用水沿革史」を刊行した。内容は四篇から成り、第一篇で、古代から現代に至る同用水の歴史の変遷をつぶさに考察したうえ、今後の土地改良区の展望と課題を論じ、第二篇は地域村落用水史、第三篇には関係史料一九三件を収め、第四篇の付録では、用水組合変遷表、関係年表等を掲載している。

この編集には、斉藤嘉造氏（武生高校教

頭）を編さん委員長として、高坂顕（武生工業）、片岡幸治（武生西小学）、鈴木武夫（鯖江高校）、宮脇茂雄（武生高校）、真柄甚松（鯖江市中央中学）、斉藤忠征（武生高校）の計七名の社会科担当教師が、四年余を費やしてまとめた一大労作で、用水史という甚だ困難な研究分野に堂々取り組んだ貴重な研究成果として、極めて高く評価すべきものである。

（発行所・申込先、武生市北吾妻町、松ヶ鼻土地改良区、A5判九〇〇ページ、頒価六、〇〇〇円）